

雅楽の世界

楽器のみの演奏である管絃は主に屋内で演奏され、舞を伴う演奏である舞楽は主に屋外で演奏されます。今企画は管絃です。管絃は管楽器、絃楽器、打物に分けることができます。使用する楽器は管楽器より三管といわれる「笙」「龍笛」「篳篥」です。雅楽のお話や合奏をお楽しみください。



みうら もとりの
三浦元則 / 篳篥

1982年生まれ。広島県出身。祖母、父の影響で幼少より雅楽に親しみ、父三浦進に篳篥の手ほどきを受ける。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。篳篥、楽箏、打物、歌物、右舞などを修める。篳篥・古代歌謡を東儀雅季氏、右舞を多忠輝氏に師事。大学在学時より演奏団体「東京楽所」にて国立劇場、東京オペラシティ、海外など数多くの公演に出演。主に篳篥奏者として古典音楽から現代音楽まで幅広く活動している。映画「源氏物語〜千年の謎〜」(東映)、大河ドラマ「平清盛」「軍師官兵衛」(NHK)、映画「かくや姫の物語 SoundTrack」(スタジオジブリ)、「ジブリのうた」(NHK)、「題名のない音楽会」(テレビ朝日)、「Blends」(NHK world)、川井郁子「LUNA」(ソニー・ミュージック)、歌劇「Japan Orfeo」、Tim Hecker + Konoyo Ensemble ワールドツアーなどに出演、演奏協力。

「東京楽所」「日本音楽集団」所属、「Group-4」主宰。

東京藝術大学非常勤講師。



やつき じゅんこ
八槻純子 / 笙

福島県棚倉町出身。

棚倉町八槻に鎮座する都々古別神社の社家に生まれ雅楽に出会う。東京藝術大学邦楽科雅楽専攻卒業。

笙を宮内庁式部職楽部 多忠輝氏に師事。大学では笙、古代歌謡、左舞を修め、東儀雅季氏、岩波孝昌氏に師事した。卒業後は高い芸術性を有し、わが国最大規模である雅楽団体「東京楽所」の一員として演奏活動を行い、平成24年から平成29年にかけて東京オペラシティでおこなわれた定期公演(全10回)、平成30年からは場所をサントリーホールに移しておこなっている定期公演に出演している。

平成25年4月〜27年3月まで東京藝術大学邦楽科助手を務め、平成28年より非常勤講師として笙、雅楽合奏指導をしている。大学では邦楽科定期演奏会、和楽の美、藝大130周年記念音楽祭等に出演し、雅楽古典演奏のみならず、箏、三味線、お囃子など様々な楽器との演奏にも取り組んでいる。



こうけつ たくや
黒川拓也 / 龍笛

幼い頃より龍笛を始める。平成27年に東京藝術大学邦楽科雅楽専攻を卒業(アカンサス音楽賞を受賞)。

龍笛、楽琵琶、打物、歌物、右舞などを修める。龍笛を上研司氏、右舞を多忠輝、松井北斗岩氏、歌を増山誠一氏に師事。演奏団体「東京楽所」に所属。国立劇場公演、鶴岡八幡宮での舞楽奉納、東京オペラシティ定期公演、日本フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢共演など数多くの公演に出演。

個人活動として2013年台湾での展覧会「衣殖」にて演奏。「ジブリのうた」(NHK)、Tim Hecker「konoyo」録音、現代音楽や美術等他ジャンルとの共演・録音。

東京藝術大学教育研究助手。

東京藝術大学音楽学部邦楽科について

1936(昭和11)年、東京音楽学校(東京藝術大学の前身)で初めて邦楽科が誕生。新制大学への移行期に存廃の議論があがるも、東京藝術大学音楽学部発足の1年後に現在の邦楽科設置が決定。全国の芸術大学で唯一の邦楽科として現在に至る。邦楽科では、三味線音楽(長唄、常磐津、清元)、邦楽囃子、日本舞踊、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、雅楽の各専攻に関する実技と演奏理論を研究、教授して高度な能力をそなえた演奏家を養成している。

申込方法

電話、メール、Fax いずれかでお申込みください。

先着順にて受付いたします。

電話 0550-83-0747 (10時〜17時/火曜休館)

メール 東山旧岸邸公式ホームページ内のお問合せフォームに下記の必要事項を記載して送信してください。

FAX 0550-83-0778

ふりがな		参加人数
お名前		名
住所	〒	希望回
連絡先		<input type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目

集合時間 1回目 11時30分〜11時55分、2回目 13時30分〜13時55分までに受付を済ませてください。

完全入れ替え制とさせていただきます。

受付/東山旧岸邸管理棟 持ち物/ご予約をされた方へ後日ハガキをお送ります。当日は必ずハガキをお持ちください。

お問合せ 東山旧岸邸 TEL:0550-83-0747(火曜休館) 〒412-0024 静岡県御殿場市東山1082-1